

# ワクワクワ新聞 第149号

発行日：平成30年3月15日(木)  
発行者：若林ひろき 品川区議会議員



## 品川区予算案から

### ご紹介

子ども・子育て編

### 保育園

今年4月の待機児童は、ほぼゼロと見込まれています。乳幼児人口と共働き家庭の増加が続くため、毎年の定員増の取り組みは引き続き必要です。来年4月の拡大定員は、1015人の予定と発表されました。(認可保育園開設12園960人など)

### 【1歳児の受入れの工夫】

認可保育園に入れなかった1歳児100人程度を、4月新規開設園で4・5歳枠に空きがあった約15園において、空きスペースを活用して受入

れます。

### 【職員の処遇改善】

私立保育園・幼稚園の保育士等を確保するため、様々な事業を行います。

(一) 賃金：処遇改善加算金の支給。同加算以上のアップする園に補助金を支給。

(二) 家賃：園が宿舍を借り上げた場合、家賃経費の一部を補助

(三) インフルエンザ予防接種：職員が接種した場合、費用の一部を補助

【ベビーシッター助成】認可保育園に入れなかった方が利用する場合に、助成します。都に届け出をしている30事業所が対象です。

### オアシスルーム

在宅子育て家庭の

フレッシュや一時保育のためのルームですが、区役所内にも開設します。また、24時間予約を受け付けるためインターネット予約システムを導入します。

### 子どもが相談

ひきこもりや発達障がい、退学、LGBTなどが、困難を抱えた子ども・若者の相談窓口を、空き店舗等を活用し開設します。相談を受け、雇用、教育、医療・保健、福祉などの団体との懸け橋の役割を担います。

また、学習支援・創作活動、自然体験・社会体験、就労支援などのプログラムを用意する予定です。

### ボルダリング

児童センターでは、スラックラインとオリリンピック正式競技になったボルダリングを継続的に

体験できる場を作ります。

スラックラインでは、競技会や親子体験の機会を設ける他、インストラクターによるワークショップ・デモンストレーションを、12月1日、滝王子児童センターで開催します。

ボルダリングでは、ゆたか児童センターの設備を充実させる他、年12回の講習会、年1回の競技会を開催します。

### 高校生奨学金に

### 返還免除制度

教育費の負担軽減が国でも進められています。区においても在学応援資金(所得制限あり)を創設し、高校生活を応援します。授業料以外にも部活動や修学旅行などにも使えるようにし、上限60万円の貸付に対し、一定の要件を満たせば最大60万円の返還免除が受けられます。

## 私の本棚

「書く力」(池上彰・竹内政明) / 朝日新書 その5

ベタに書くことを恐れない

一般の方は、「理想」を目指して、「理想的な文章」以外は大嫌いだと切り捨ててしまいがち。…「工夫せずにそのまま書くことを恐れない」というのも、すごく大事な感覚だと思えます。「そのまま書けた」ということは、少なくとも読者に「伝わる」文章が書けたということですから、恥ずかしがるようなことでは全くないと思います。「人と違う書き方をしなければいけない」「他の人が思いつかないような書き方をしなければいけない」というのは、プロの問題であって、素人は気にしなくてもいい。「ベタな表現」には、少なくとも読み手と共通の土壌がある。こう書いてくるだろうな、と読み手の予想が書き手の構想と合致している。読み手との交感があることは認めていい。(つづく)